

令和7年9月1日（月）

魚沼きこえの教室だより

令和7年度 第5号

長岡聾学校小出分教室（小出特別支援学校内）

きこえの教室 担当：小池 豊

〒946-0035 魚沼市十日町 1738-2

TEL:025-792-5462 fax:025-792-5465

Email:koike.yutaka@nein.ed.jp

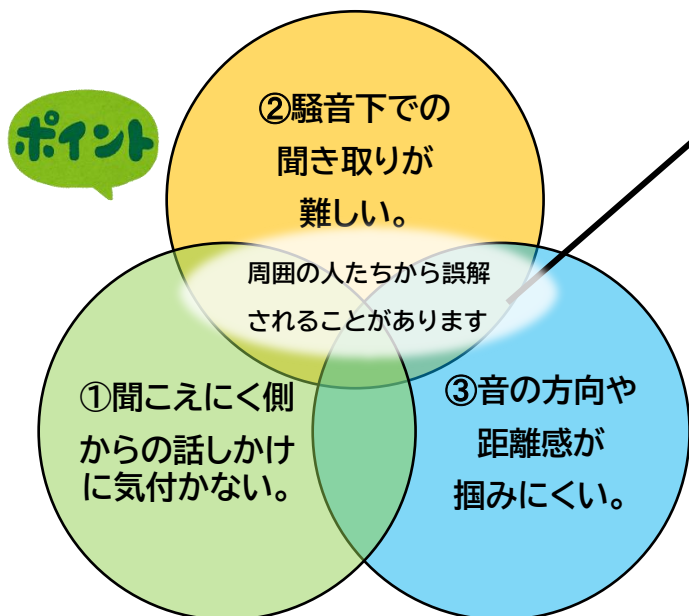
片耳難聴

「片耳が聞こえているから大丈夫」は本当？

夏休みが終わり、2学期がスタートしました。日頃より小学校や中学校で学んでいる難聴児童生徒へのご支援、誠にありがとうございます。夏休み中、片耳難聴の研究をされている岡野由実さんのお話をきく機会がありましたので、今回は、「片耳難聴（医学的には一側性難聴の呼称）」についてご紹介したいと思います。

NHKの連続テレビ小説「半分、青い」で注目された片耳難聴。今年度は8人の片耳難聴の小中学生が定期的に通級し、自分の聞こえにくさや合理的配慮について学んでいます。岡野さんによれば、「片耳難聴は3つの場面限定の聞こえにくさ（①聞こえにくい側の聴取が難しい ②騒音下での聞き取りが困難 ③音の方向や距離が掴めない）であり、それ故に誤解されやすい」と言います。特に「騒音下の聴取が難しいということを仲間や先生方に理解していただくのは困難」だと感じています。同時発話場面ではない静寂下では、友だちや先生方と普通にやりとりできているからです。ぜひそうした事情を知り、困り感に寄り添っていただければと思います。

▲片耳難聴（一側性難聴）の不便さとは？



▲よくある誤解（人間関係に影響すること）

- ・聞こえないふりしてるの？
- ・無視しないで！
- ・何回も呼んでるよ！

片耳難聴（一側性難聴）の配慮

- ・聞こえる側の耳を考慮した座席にする。
- ・同時発話場面や騒音をできるだけ減らす。
- ・顔が見える位置で話す。（聞こえる側から話す）
- ・初めて使用する言葉は、口頭だけでなく文字でも提示する。

□書籍の紹介 「片耳難聴Q&A」 岡田由美 学苑社

いつも聞こえないわけじゃないけど、「片耳きこえるから大丈夫でしょ」と思われたくないと語る著者。

Q&A形式で片耳難聴の基礎から、社会のみんなに訴えたいことまで丁寧に解説されています。

□団体及びホームページの紹介「きこいろ 片耳難聴のコミュニティ」

啓発活動や正しい情報の発信のほか、片耳難聴の当事者同士の交流の場も提供されています。